



SUSE、Intel および SAP との提携で データセンターにパーシステント・メモリを導入 IT 変革を加速

SUSE Linux Enterprise Server for SAP Applications は、SAP HANA®ワークロードを伴う Intel®Optane™ DC パーシステント・メモリ用に最適化された最初のエンタープライズ Linux です

NUREMBERG, Germany | 2019 年 1 月 16 日

SUSE®は本日、SAP HANA®に対する Intel®Optane™ DC パーシステント・メモリのサポートを発表しました。これにより、SUSE Linux Enterprise Server for SAP Applications を実行する SAP HANA ユーザーは、データセンターで大容量の Intel Optane DC パーシステント・メモリを利用できるようになりました。ユーザーは、さらに大量のデータをプロセッサの近くに移動して維持し、メンテナンス中にシステムストレージからデータをフェッチする際の待ち時間を最小限に抑えることで、ワークロードを最適化することが可能です。また、現在複数のクラウドサービスプロバイダやハードウェアベンダから[ベータ版で提供](#)されている Intel Optane DC パーシステント・メモリもサポートします。これにより SUSE は、お客様が IT インフラストラクチャを変革してコストを削減し、より高いパフォーマンスを提供して効率的に競争することができるよう貢献します。

SUSE の最高技術責任者 (CTO) であるトーマス・ディ・ジアコーモ (Thomas Di Giacomo) は、次のように述べています。「パーシステント・メモリ技術は、データアクセスとストレージに対して新たなアプリケーションを創造します。SUSE が Intel Optane DC パーシステント・メモリ上に構築されフルサポートされたソリューションを提供することで、企業は [SAP HANA の能力をさらに引き出す](#)ことができます。当社は、SAP や Intel に代表される企業と提携し、IT インフラストラクチャを変革して成長を牽引しようとしている世界中のお客様にサービスを提供し続けます。お客様のニーズが、当社のイノベーションの方向性を定めています。」

Intel の不揮発性メモリおよびストレージソリューショングループ担当副社長兼ゼネラルマネージャーであるアルパー・イリキバハル (Alper Ilkbahar) 氏は、次のように述べています。

「Intel Optane DC パーシステント・メモリは、データセンター用に特別に設計された新しいクラスのメモリおよびストレージ技術です。この新しいメモリ分野は、費用対効果の高い、大

容量のインメモリデータベースソリューションの構築を可能にし、電源投入後のシステムのアップタイムの改善とリカバリの高速化を実現、高性能のクラウド規模のアプリケーションがデリバリできるように設計されています。SUSE は SAP と協力してこの革新的な技術をお客様に提供することで、お客様がデータセントリック時代に革新的な機能を提供できる全く新しい世代のアプリケーションとサービスを利用できるよう手助けします。」

SAP HANA テクノロジーイノベーションネットワークのマーチン・ハイジック (Martin Heisig) 氏は次のように述べています。「SAP HANA に対するパーシステント・メモリを提供することは、当社の SUSE および Intel との継続的な関係において画期的な出来事です。SAP のデジタルコアは、生産性の向上とリアルタイムの知見を得るためにインフラストラクチャを単純化するという概念に基づいて構築されています。」

SAP HANA は、あらゆる規模の企業に、SAP アプリケーション向けの [高性能データベースソリューション](#)を提供しています。Intel Optane DC パーシステント・メモリ上で [SAP HANA](#) ワークロードを実行している SUSE Linux Enterprise Server for SAP Applications を使用しているお客様は、インフラストラクチャコストの削減と同時に、管理オーバーヘッドの削減も期待できます。SAP HANA ワークロードは Linux 上で実行されるため、SUSE Linux Enterprise は現在、SAP HANA と Intel Optane DC パーシステント・メモリをサポートする唯一のソリューションとなっています。

SUSE Linux Enterprise Server for SAP Applications 上で実行される SAP HANA ワークロードに対する Intel Optane DC パーシステント・メモリのサポートは、SUSE Linux Enterprise 12 Service Pack 4 に含まれており、現在 [世界中で販売されています](#)。SUSE Linux Enterprise の詳細については、www.suse.com/sles をご覧ください。

SUSE について

SUSE は、オープンソースソフトウェアのパイオニア企業であり、信頼性の高いソフトウェア定義型のインフラストラクチャとアプリケーション配信ソリューションを提供することで、企業のコントロール能力と柔軟性を高めています。その卓越したエンジニアリング能力、圧倒的品質のサービス、他の追随を許さないパートナーエコシステムは、25 年以上の歴史を誇り、これに裏打ちされた製品とサポートは、顧客企業が複雑な要素を管理し、コストを削減し、自信を持ってミッションクリティカルサービスを提供できるよう支援しています。また、長期的な関係を構築することで、現在および将来にわたり、顧客が成功する上で欠くことのできない、

より高度なイノベーションの開発・提供を実現しています。詳細については www.suse.com をご覧ください。

###

著作権 2019 年 SUSE LLC。不許複製。SUSE および SUSE ロゴは、米国およびその他の国における SUSE LLC の登録商標です。すべてのサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。

本書に記載されている SAP、SAP HANA、およびその他の SAP 製品とサービス、およびそれぞれのロゴは、ドイツおよびその他の国における SAP SE（または SAP 関連会社）の商標または登録商標です。追加の商標情報および特記事項については、<http://www.sap.com/corporate-en/legal/copyright/index.epx> を参照してください。記載されているその他すべての製品名およびサービス名は、それぞれの会社の商標です。

【本件に関する報道関係の方のお問い合わせ】

ノベル株式会社 SUSE 事業部 広報代理

クレアブ株式会社 担当：外川（トガワ）・宮津

TEL：03-5404-0640 Email：suse@kreab.com